

平成 23 年 9 月 29 日
筑波大学

教員の所属組織の変更について

筑波大学では、本年 10 月 1 日をもって教員の所属組織（以下、「教員組織」）を変更しますので、お知らせします。現在は、博士課程研究科を教員組織としていますが、10 月 1 日以降は、新設の「系」が教員組織となります。具体的な組織編制は、次のとおりです。

| 【現行】 | | 【H23. 10. 1 以降】 |
|-----------------|------------|-----------------|
| 教員組織：大学院博士課程研究科 | | 教員組織：新設の「系」 |
| 人文社会科学研究科 | ➔ | 人文社会系 |
| ビジネス科学研究科 | | ビジネスサイエンス系 |
| 数理物質科学研究科 | | 数理物質系 |
| システム情報工学研究科 | | システム情報系 |
| 生命環境科学研究科 | | 生命環境系 |
| 人間総合科学研究科 | | 人間系 |
| 図書館情報メディア研究科 | | 体育系 |
| | | 芸術系 |
| | 医学医療系 | |
| | 図書館情報メディア系 | |

1. 変更の経緯

筑波大学では、教育研究機能の一層の向上を図るため、一昨年来、教育研究体制の見直しに関する全学的検討を進めてきました。本年 2 月、教員組織の新設を骨子とする見直しの方針をとりまとめ、準備期間を経て、10 月 1 日から新たな教員組織に移行することとしました。

2. 見直しの目的

今回の見直しでは、新たな教員組織である「系」を、教育と研究の双方に基本的な責任を持ち、全学的な見地から、当該分野の発展及び他の分野との連携・協力を総合的かつ計画的に推進するものとして位置付けています。

教員組織を独立した組織として編制・運営することによって、教員組織の編制にとらわれることなく、より目的に即した教育研究活動を展開し、教育研究機能の一層の向上を図ることを目指しています。具体的には以下のとおりです。

- (1) 教育面では、学位を与える課程を中心とした教育の在り方を徹底し、学位の質の保証と、社会のニーズを踏まえた柔軟な教育の展開をよりよく実現できる体制とする。
- (2) 研究面では、個人研究から多様なグループ研究まで、より柔軟に研究活動を展開できる体制とし、研究機能の一層の向上を図る。
- (3) 運営面では、新たな教員組織として、教育と研究の双方に責任を持つ大括りの教員集団を形成し、人的資源を有効に活用して多様な教育研究を機能的に展開する。

3. 今回の見直しの位置付け

上記2のとおり、今回の見直しは、今後、教育研究機能の一層の向上を図っていくための体制整備であり、将来に向けた基盤整備として位置付けられます。

「系」の新設にあたっては、新体制への円滑な移行を図る観点から、現行の研究科・専攻及び学群・学類の組織編制を前提として検討してきましたので、それらについては、今回の見直しに伴う変更はありません。

また、「系」の編制についても同様に、現行の教員組織である博士課程研究科にほぼ対応した編制を出発点として、新体制に円滑に移行するようにしています。ただし、本来的には、教員組織と研究科又は学群は一对一の対応関係にある必要はなく、それぞれの目的に応じて適切な編制を取り得ることがこの体制の利点ですので、今後、この利点を生かした展開を図っていくこととしています。